平成二十六（二〇一四）年度
ニューヨーク補習授業校

第二十四回
作文コンクール
入選作品集

協賛　パナソニックノースアメリカ様

巻頭言にかえて

作文コンクール　最優秀賞作品解説

平和は手のひらにある

笠井　大暉（中等部三年）

結論を題名にして、冒頭と第二段に疑問を投げかけています。学校で学んだテロについて、自問自答をしつつ　論　例　策　等を述べています。マザーテレサの考えの引用、大切な祖父の言葉・・・いずれの段落もうなずきつつ読み進むことができます。終末に再度自問し、続いて題名で締めくくっています。

巧みな論文構成であり、国内のどの学校でも十分に通用します。

補習校で学ぶ生徒として、さらに思索を深め、将来は自身の疑問を課題として、課題解決のために働きかけることができる人になってください。

英語の本から日本語の本へ、翻訳のむずかしさ

武神　美奈（中学部二年）

「読書好き」との綴りだしにつづき「しかし」と自らの課題を提示しています。そして日本語の小説を読むことを自らに課したいきさつを説明しています。文章構成が光ります。各段落の要旨もわかりやすく、教科書の本文として「教材化」できるレベルの作品になっています。内容は補習校生としての視点から、両国の文化の違いに言及しています。「なるほど」と頷かせてくれます。

もったいない点は、文末が「欲しくないと思う。」との願いで終わっていることです。来年さらに高等部へと学び続け、視野を広げ、思索を深め、そこで私は・・・と続きの文章であなたの将来について語ってください。

「戦争の原因」

櫻井　心大郎（初等部六年）

十二歳の少年がここまでの文章が書けるのか・・・小学生が二千字の論文を書くとは、感動的です。中学三年生でもこれだけの文章が書けたら立派です。

したがって、あえて述べます。

インターネットで調べ学んだ内容が、八百字程示されています。ここを簡潔にまとめて、多くの読み手（普段、あなたの文章を読むのは六年生）が抵抗なく読み切れる分量にすることも「伝える工夫」として知っておいてください。

後半からは自分の考えを理由を述べつつ語っています。読み取る力もあるのですから、中・高等部へと学び続け、さらに思索を深めてください。五年後、あなたの成長が楽しみです。

銀なんみたいなくさい足

大日方　柊（初等部五年）

最優秀賞にふさわしい作品です。

題名から読み手を引きつけます。お母さんのひと言から「お話」が始まります。

暖かい家庭の様子もうかがえます。日常生活の「気づき」を調べ解決していく過程もよく示されています。また、たくさん使っている「　」内の言葉も巧みな表現です。文章が自分のキャラクターのままであったならば、たくさんのお友達に囲まれることでしょうし、創作でしたら、将来はシナリオライターを志してもいいですね。

そのためには、もう小学校五年生です。原稿用紙の使い方は、学校で学んだことを生かしてください。

そして読者のみなさんに申し上げます。**絶対に真似をしないでください。**

ひとまねけいくん

しまなみ　れい（初等部二年）

お姉さん・お兄さんになった子供の素直な気持ちはしばしば綴られますが、中でも、素敵な作品となっています。

題名も含め、否定的な冒頭で始まり、期待や不安を織り交ぜつつ文章を書き進めていきます。「つなぎの言葉」も学習したばかりですし、主語や述語についての学習もこれからなのでしょうが、文章を膨らませることも巧みです。きっとお話し好きなのでしょうね。

最後は「ひとまねけいくん」のお手本になってあげようと、肯定的な締めくくりになっています。

「じょうず」　です。

この作品を賞状とともに、「れいさん」「けいくん」の宝物にしてください。

おっぱいちゃん

梅澤　花（小等部二年）

待ち望んでいたお姉さんになったのに、思いもよらないこととなった戸惑いが素直な文章で表現されています。舞ちゃんと触れ合っていくうちに、さみしい気持ちがしだいに変わっていく様子を丁寧に表現しています。そしてお姉さんになっていく心の動きもよく分かります。作品を通して花さん・舞ちゃん・お母さんの楽しいおしゃべりが聞こえてくるようです。

結びは「叱られないように」と、お姉さんとしてのアドバイスですね。

この作品は「花さん」と「マミー」との宝物になることでしょう。

最優秀賞候補となった作品

暴君が学んだこと

カイザー　玉青（高等部二年）

五十年ほど前、作文は題名が大切ですよ」と「見留サヨ」先生の指導を受けたことを思い出しました。「暴君」は日本流に呼ぶと女高生でした。

気まずい空気、との冒頭にも作文の技巧が光り、読み手を一気に引きつける文章です。学校生活で必ず立ちはだかる壁を経験し、仲間のひとことで「空気」に気づき、自己理解をしつつ、仲間（学級）とのよりよい関係を構築していく・・・補習校（日本の学校）ならではの「学び」を簡潔に語っています。大作ではないことにも好感が持てます。

縦書きの約束事を確認しましょう。

明日を超えて

前田　花帆（高等部一年）

二千四百字の大作です。第一段を「心の傷は・・・治らない。」と結んでいます。これからの展開を予感させてくれます。エピソードの締めくくりごとに「頑張っていくことを決めたのだ」「人間としての強さに驚いた」「自分の力で自分の居場所を作ったのだ」「なんでもやってみることを誓った」「自分の役割を果たしたい」と感想、否、決意を語っています。大作は「私も未来を超える。そして・・・」との決意で完結しています。

現地校と補習校で学び続けた成果が十分に生かされています。「補習校であなたのような人間を育てることが先生方の願いなのですよ」と申し添えます。

千八百字程度にまとめれば、さらにすばらしい作品になることでしょう。

また、縦書きの約束事も確認しましょう。

メープルシロップ作りとハイキング

ロドリッツ　亜門（小等部二年）

しばしば作文のテーマとして取り上げられる家族旅行。それだけに賞を狙うのは難しいことです。たくさんの作品から選ばれたわけは、学習指導要領を読んでいるかのような「模範作文」だからです。また、小学校二年生の半分までの学習の成果として立派な作品構成です。さらに「青くて細いチューブ」「グツグツにつめる」「じゅえき」「疲れがビュウンととんでいきました」など、豊富な語彙や素直な表現にも感心しました。

エピソード記憶といい、体験を伴って獲得した知識（ここでは言葉）は忘れないものです。ご家庭での日常の言語環境も豊かなのでしょう。分析的に読んでいけば小学三・四年生のレベルであると判断します。

内容をメープルシロップに絞っても立派に作品となったでしょう。

題名の工夫は今後の課題ですね。

【目　　次】

第二十四回　作文コンクール　入選作品

：最優秀賞：

◇平和は手のひらにある

　Ｌ－校　中等部三年　笠井　大暉

◇英語の本から日本語の本へ、翻訳の難しさ

　Ｗ校　中等部二年　武神　美奈

◇戦争の原因

　Ｗ校　初等部六年　櫻井心大郎

◇銀なんみたいなくさい足

　Ｌ－校　初等部五年　大日方　柊

◇ひとまねけいくん

　Ｗ校　初等部二年　しまなみれい

◇おっぱいちゃん

　Ｌ－校　初等部一年　梅澤　花

：優秀賞：

◇暴君が学んだこと

　Ｌ－校　高等部二年　カイザー玉青

◇明日を超えて

　Ｗ校　高等部一年　前田　花帆

◇メープルシロップ作りとハイキング

　Ｗ校　初等部二年　ロドリッツ亜門

◇補習校という名の養分

　Ｌ－校　高等部二年　柴田奈央美

◇アヴェ・マリアのヴァイオリン

　Ｗ校　高等部一年　三井　寛子

◇応援団長になって

　Ｗ校　初等部六年　松浦　亮太

◇一人旅

　Ｗ校　初等部五年　那須　咲代

◇大きらいから大好きになるまで

　Ｗ校　初等部五年　玉村　理紗

◇ぼくがなぜ剣道をはじめたのか

　Ｗ校　初等部三年　渡邉　喜

◇「おにいちゃん、またね」

　Ｗ校　初等部三年　竹田　桃子

◇初めてのふたりぼっち

　Ｌ－校　初等部三年　延原　伶

◇「おどろきいっぱい」

　Ｗ校　初等部二年　垣内日菜子

◇はじめてのともだち

　Ｗ校初等部一年　赤まつけいすけ

◇アメリカのリス

　Ｗ校　初等部一年　たむらはるか

：入選：

◇わたしのすきなくつ

　Ｌ－校　初等部一年　なんば咲花

◇おかあさんのスクーター

　Ｌ－校初等部一年クワコウますみ

◇アメリカにきてから

　Ｗ校　初等部一年　小池ほたか

◇わたしのともだち

　Ｗ校　初等部一年　いとうあゆみ

◇アメリカでの僕

　Ｗ校　初等部一年　今堀勇太

◇りんごくん、まっててね

　Ｗ校　初等部一年　中おこうき

◇ぼくとバスケ

　Ｗ校　初等部一年　なすあいき

◇たいけんにゅう学

　Ｗ校　初等部一年　ラグレンまや

◇しょうらいのゆめ

　Ｗ校　初等部一年　ながお　みゆ

◇かぞくりょこう

　Ｗ校　初等部一年　こすぎ　さえ

◇ナイアガラフォールズ

　Ｗ校　初等部一年　にしまきはるき

◇ベルリンフィルの春

　Ｌ－校　初等部二年　さる見田美汐

◇おばあちゃんとのやくそく

　Ｌ－校　初等部二年　マ笑里

◇けんかはつらい
Ｌ－校　初等部二年　すぎはらえりん
◇自てん車にのれた
Ｗ校　初等部二年　水村ひなの
◇と会のどうぶつ園
Ｗ校　初等部二年　前田こうめ
◇転ぷくしたカヌー
Ｗ校　初等部二年　ジョーンズ嶺
◇ぼくのゆめ
Ｗ校　初等部二年　伊とうゆう太
◇五か月ぶりにそろった家族
Ｌ－校　初等部三年　ふじ田のぶたか
◇カモン月食
Ｌ－校　初等部三年　加来想一ろう
◇アゲハをはじめて見たとき
Ｗ校初等部三年　岩渕　真歩
◇自由の女神の国へ
Ｗ校　初等部三年　赤松　隆之介
◇事件！大きなはちが教室に
Ｗ校　初等部三年　渡邉　慧
◇夢がかなった夏休み
Ｗ校　初等部三年　笹尾　佳音
◇目が不自由なこと
Ｌ－校　初等部四年　山崎でぃな
◇平和について
Ｌ－校　初等部四年　イスラスダニエル
◇アメリアに来て気づいたこと
Ｌ－校　初等部四年　吉村　和華
◇みけ
Ｌ－校　初等部四年　市川　華
◇初めてのヒット
Ｌ－校　初等部四年こう本じゅん
◇わたしの好きな場所
Ｗ校　初等部四年　市坂　玲奈
◇この夏の旅行
Ｗ校　初等部四年　増田　朋
◇引っぱられる、でも、引く
Ｗ校　初等部四年　立本　千乃
◇おどろきの毎日
Ｗ校　初等部四年　鹿内　春伽
◇アメリカと日本の違い
Ｗ校　初等部四年　今堀　豪太
◇初めてのなぎんで
Ｌ－校　初等部五年　保坂ウェンディ
◇夢を追いかけて
Ｌ－校　初等部五年　豊田　夏稀
◇テレビを観ること
Ｗ校　初等部五年　武神　亜弥
◇奈良薬師寺の千年の釘
Ｗ校　初等部五年　竹淵　はな
◇バイオリンと私
Ｗ校　初等部五年　松下　愛理
◇徒競走の神様
Ｗ校　初等部五年　戸田　優菜
◇ミドルスクーラーになって
Ｗ校　初等部五年　パルミエリ　リーアム
◇平和
Ｌ－校　初等部六年　滝澤　真佳
◇平和になるには
Ｌ－校　初等部六年　モンターク鈴音
◇自分の部屋
Ｗ校　初等部六年　ビエム　アディア
◇小さな平和
Ｗ校　初等部六年　木谷　希望
◇ボランティアから習った祖母の心
Ｌ－校　中等部一年　山口百音
◇初めての魚釣り
Ｌ－校　中等部一年　山口　茜
◇奇跡の四ヶ月
Ｗ校　中等部一年　加藤　和樹
◇大道具係
Ｗ校　中等部一年　保山　健人

◇引っ越し
W校　中等部一年　川上　美咲
◇将来のなやみ
L－校　中等部二年　古庄アカネ
◇「咲友理ちゃん」
L－校　中等部二年　中村夢乃
◇三つの国にまたがる友情
W校　中等部二年　長瀬　茉結
◇視点の違い
W校　中等部二年　奥田りりか
◇転校
W校　中等部三年　岩佐　佳奈
◇漫画博物館
W校　中等部三年　阿部　紘子
◇日本でのカルチャーショック
W校　中等部三年　小野　元暉
◇私とスポーツ
W校　高等部一年　グレイ希望
◇「英語と日本語の狭間で」
W校　高等部二年　ハナガンありそん